

**山田** 私の推しは『望まない妊娠が女性を追い込む』SRHR(性と生殖に関する健康と権利)はみんなの話の札(左)。産む産まないを決めるのは女性一人ひとりの権利です。私がこの絵を描いたのですが、そこに母体も一つの命」という言葉を書き加えました。妊娠、出産など、社会的な役割



2024 ©新婦人春日井支部ひまわり班

の多くが女性に押し付けられてると感じています。昨年12月「ユースで、女流棋士が妊娠・出産でタイトル戦不戦敗」と報道された際、弁護士が「リップラックタイプ・ヘルス・ライツ」という言葉を使っているのを見た服部さん。テレビを見ながら、「問われているの

は、まさに、これだ！」と声を上げたそうです。「かるたのおかげでユースを見る目がちよつと変わった」と。

**「お墓」で1時間**

一番盛り上がるのは？

林 お墓(笑)、それとパートナーの呼び方。

服部 パートナーは、自分のというより、友人や知人のお相手の呼び方。すごく盛り上がる。夫のことを呼ぶ時は「夫が」と言えるけど、他人の夫を呼ぶ時には躊躇する。そんなに悩まず、夫やパートナーと言えはいいじゃないかって人もいます。でも、そう

**聞きなれない言葉も**

林 「これは何？」という人が多い札の一つが、『無意識の差別はやっぱりマイクロ・アグレッション(小さな攻撃)』。

**声明**  
平和も暮らしも壊す憲法改悪を許さない共同を大きく

**第51回衆議院選挙を終えて**

高市首相は解散権を乱用し、内閣支持率の高さだけを頼りに戦後最短の日程で2月8日投票の総選挙を強行しました。裏金、新たな統一協会の疑惑も無視し、「高市旋風」の中で自民党が316議席を得て単独で3分の2を超え、改憲発議可能な議席数を衆議院で確保、連立を組む維新の会と合わせて352議席となりました。立憲民主党が公明党に飲み込まれた中道改革連合は議席が7割減となり、自民党と対決する共産党、れいわも議席を減らし、社民党は議席を得られませんでした。多くの政党が「右へ右へ」の流れに迎合し、「戦争国家づくり」推進勢力が多数となりました。

高市首相は、「高市早苗でいいのか国民が決める選挙」「国論を二分する政策への審判を仰ぐ」と言いながら、選挙中は詳細を語り、選挙後の記者会見で、憲法改悪と大軍拡への意欲を改めて示しました。有権者は高市政権に白紙委任したわけではありませぬ。暮らした教育、社会保障の充実、平和、ジェンダー平等を願う女性・市民との矛盾は避けられません。自民党への投票は、有権者全体ではわずかに2割比例得票率36.7%で7.7%の議席を占めたのは、小選挙区制によるものです。

性対話しながら会員を迎えてきました。選挙直後の宣伝や対話では、「戦争になりそうで怖い」「日本はどうなるんだろう」と不安の声が各地から寄せられています。いま、戦争か平和かの重大な岐路にあります。「五つの目的」をもち、侵略戦争と植民地支配の反省から不戦を誓った日本国憲法を守りぬく新婦人の原点に立ち、広く女性たちと対話し、平和の仲間を広げるときです。立憲野党と市民の共同をつよめ、何より平和と暮らし、ジェンダー平等を、憲法改悪と戦争準備を絶対に許さないたたかいに総力をあげる決意です。

2026年2月12日 新日本婦人の会中央常任委員会

**ジェンダーかるた(抜粋)**

**あ** 「ありがとう」カミングアウトしてもらえたら言いたい一言  
**か** 介護 家事 子育て ケアは女性の役割？ ひとりで背負わなくてもいいんだよ  
**け** 結婚の自由を「すべての人に」同性婚  
**こ** 広告をゾーニングして 女性べつ視とセクハラなくそう  
**つ** 継ぐ 継がない 家父長制とイエ制度は 未来に不要  
**ほ** ホモソーシャルから抜け出せない 仲間外れになりたくないから  
**み** 見過ごさないで 男性への性暴力も

『世 選択的夫婦別姓が実現するまで 実質 “強制的夫婦同姓” のかるたは、選択的夫婦別姓が28年ぶりに国会審議される直前に完成。「過去の話になってるといいね」と話してきた。さあ、選挙後どうなる？』

**外に広げる**

林 映画『女性の休日』おしゃべりカフェの時に「こんな面白いことをやっているなら、もっと外に出て広めた方がいい」とアドバイスをもらいました。いまは県内各地の班でやっていますが、もつと外にどうやって広げるか、考えなきゃいけないと思っています。

服部 ムーブメントにつなげて、ゆくゆくは、かるたの内容が古く感じるように変わってほしいな。昨年3月8日の国際女性デー、ウィメンズマーチでは、かるたを掲げて歩きました。今年は何をするかは相談中です。紙面をきつかけに、みなさんもモヤモヤした思いを語って、一句つづつてみませんか？

**女性ニュース**

2026. 2. 21

**総選挙の結果から**

◆自民単独で3分の2超

第51回総選挙は、高市首相が突如、衆院解散を表明し、戦後最短の日程で強行。2月8日投票された。

自民党が316議席を得て戦後初めて単独で3分の2を超える議席を獲得。選挙後、高市首相は改めて憲法改定や大軍拡推進の意欲を示した。

参政やみらいなど新興政党が議席を伸ばす一方で、立憲民主党と公明党が合流した中道改革連合は49議席に激減、共産、れいわなど左翼政党も後退した。

政党を選ぶ比例区での自民党の得票率は36.7%、絶対得票率(有権者比)は20.37%にすぎないが、獲得した議席は68%。小選挙区制の弊害が顕著になった。

投票率は56.26%と前回比2.41%

増。女性の当選者は前回の73人から68人に減り14.6%にとどまった。

**衆院選党派別当選者数**

	合計	女性	小選挙区	比例	公示前
自民	316	39	249	67	198
中道	49	8	7	42	172
維新	36	1	20	16	34
国民	28	8	8	20	27
参政	15	8	0	15	2
みらい	11	2	0	11	0
共産	4	2	0	4	8
れいわ	1	0	0	1	8
ゆうこく	1	0	1	0	5
保守	0	0	0	0	1
社民	0	0	0	0	0
諸派	0	0	0	-	0
無所属	4	0	4	-	10
計	465	68	289	176	465

**改憲賛成81%**

共同通信アンケートによると、衆院選当選者(回答403人)の81.1%が「憲法9条に自衛隊の存在明記」に賛成、婚姻に伴う改姓に関しては、「通称使用の機会を拡大」63.8%、「選択的夫婦別姓を導入」24.8%、非核三原則の堅持賛成派が68.7%。朝日新聞調査でも、衆院選当選者の93%が「改憲必要」と回答している。

**「建国記念の日」反対**

憲法公布80年、歴史に学び軍拡・改憲を許さないと、2月11日「建国記念の日」反対集会在各地で開かれた。東京では、小沢隆一・東京慈恵会医科大学名誉教授が、憲法の要石である9条を守り、軍拡や異常な政治に抵抗していこうと訴えた。

**実質賃金4年連続減**

9日、毎月勤労統計調査速報(厚労省)では、1人当たりの実質賃金が前年比1.3%減で4年連続のマイナスとなった。依然として物価上昇の勢いに賃上げが追いついていない。

6日、2025年の家計調査(総務省)で、消費支出に占める食費の割合「エンゲル係数」が28.6%と、物価上昇が押し上げ、44年ぶりの高水準に。

**柏崎刈羽原発再稼働**

東京電力柏崎刈羽原発6号機で再稼働直後に制御棒関連のトラブルで原子炉が停止されたが、東電は9日、不具合を解消したとして原子炉を再び起動させた。東電の原発再稼働は福島原発事故後初めて。